

ふくしまで輝く女性活躍促進事業業務委託 公募型プロポーザル募集要領

1 目的

この要領は、ふくしまで輝く女性活躍促進事業業務委託において、公募型プロポーザル方式（以下「プロポーザル」という。）により業務委託者を募集する際の手続きについて、必要な事項を定めるものである。

2 委託業務名

ふくしまで輝く女性活躍促進事業業務委託

3 業務概要

組織トップの意識改革を図り、女性がライフイベントによる環境の変化にかかわらず、自分の希望が満たされ、能力を最大限に発揮できる環境づくりを広げていくため、女性の活躍を促進するためのイベントや表彰等の業務を行う。

4 業務仕様

別記「仕様書」のとおり。

※具体的な仕様については、企画提案書の選定後に、提案内容を反映して決定し、仕様書を作成する。

5 委託期間

契約締結の日から令和8年3月31日（火）まで

6 見積限度額

7, 889千円（消費税及び地方消費税を含む。）

7 参加資格

プロポーザルに参加する者は、次に掲げる資格要件全てを満たす者とする。

- （1）地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しないこと。
- （2）募集要領を公示した日から契約締結までの期間において、本県及び国の機関における入札参加資格制限措置要綱等の規定に基づく入札参加制限中の者でないこと。（国の機関に係るものは贈賄、独占禁止法違反行為、公契約関係競売等妨害等に起因する案件に限る。）
- （3）会社更生法（平成14年法律第154号）の規定による更生手続開始の申立てをした者若しくはなされた者（同法第41条第1項に規定する更生手続開始の決定を受けた者を除く。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続開始の申立てをした者若しくはなされた者（同法第33条第1項に規定する再生手続開始の決定を受けた者を除く。）でないこと。
- （4）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）に該当しないほか、次に掲げる者でないこと。
ア 役員等（提出者が個人である場合にはその者その他経営に実質的に関与している者を、提出者が法人である場合にはその役員、その支店又は常時契約を締結する事務所の代表者その他

経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。)が、暴力団又は暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成30年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）。

イ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている者。

ウ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している者。

エ 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている者。

オ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者。

(5) 県税を滞納している者でないこと。

(6) 消費税または地方消費税を滞納している者でないこと。

(7) 確実に業務を遂行するための体制が確保されているとともに、本募集要領に示した業務を確実に履行できるものであること。

(8) その他、福島県との協議に柔軟かつ真摯に対応できること。

8 実施要領等の入手方法

本実施要領等については、福島県生活環境総務課のホームページ（※）からダウンロードして入手すること。

なお、窓口又は郵送等での配布は行わない。

※ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005a/nyu-satsu.html>

9 実施スケジュール

| 項目 | 日程 |
|--------------|-------------------|
| 公募開始 | 令和7年3月24日(月) |
| 「質問書」の提出期限 | 令和7年3月27日(木) 午後5時 |
| 「質問書」の回答 | 令和7年3月31日(月) |
| 「参加申込書」の提出期限 | 令和7年4月1日(火) 午後5時 |
| 「企画提案書」の提出期限 | 令和7年4月7日(月) 午後5時 |
| 審査会 | 令和7年4月9日(水) (予定) |
| 審査結果の通知 | 令和7年4月10日(木) (予定) |
| 候補者打ち合わせ | 令和7年4月11日(金) (予定) |

10 質問の受付等

質問については、以下により受け付ける。

(1) 受付期間

令和7年3月24日(月)から令和7年3月27日(木) 午後5時まで(必着)

(2) 提出方法

「質問書(第1号様式)」を添付し、電子メールにより「19 問合せ先等」に提出すること。

その後、提出した旨を「19 問合せ先等」に電話で連絡すること。

なお、電話による質問の受付は行わない。

(3) 回答方法

受け付けた質問は、令和7年3月31日(月)までに質問事項と回答を併せて福島県生活環境総務課ホームページ(※)に掲載する。質問者情報は開示しないこととする。

なお、質問書の提出がない場合について、その旨の掲載は行わない。

※ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16005a/nyu-satsu.html>

11 参加申込書の提出

プロポーザルに参加する意思のある者は、「参加申込書(第2号様式)」及び「誓約書(第6号様式)」を添付し、電子メールにより「19 問合せ先等」に提出すること。その後、提出した旨を「19 問合せ先等」に電話で連絡すること。

(1) 提出期限

令和7年4月1日(火) 午後5時(必着)

(2) 参加者資格審査

参加申込書の内容及び参加資格要件の適否を確認し、その結果を令和7年4月2日(水)以降に通知する。

(3) その他

参加申込書の提出がない者の企画提案は受け付けない。

12 企画提案書等の提出

プロポーザルに参加する意思のある者は、「11 参加申込書の提出」を行った上で、企画提案書等を提出期限までに「19 問合せ先等」へ提出すること。

(1) 提出期限

令和7年4月7日(月) 午後5時(必着)

(2) 提出方法

持参又は郵送

ア 持参による提出の受付時間は、月曜日から金曜日(祝日を除く)の午前9時から午後5時までとする。

イ 郵送の場合は、封筒表面に「ふくしまで輝く女性活躍促進事業業務委託公募型プロポーザル企画提案書類」と赤字で明記すること。また、郵送時には簡易書留を利用するなど、書類の送付記録が残る方法で提出すること。

ウ CD-ROMや電子メール等の電子媒体及びFAXによる提出は認めない。

(3) 提出書類

ア プロポーザル参加者関係書類

(ア) 定款又は寄附行為の写し(法人格を有しない場合は、団体規約の写し等運営規約に相当するもの)

(イ) 登記事項証明書(応募申込書を提出した日から3か月以内のもの。写し可。)

法人格を有しない場合は、名称、所在地、資産の総額、代表者の氏名及び住所を記載した所在地、資産の総額、代表者の氏名及び住所を記載した書類

(ウ) 法人等概要書(第3号様式)

(エ) 業務実施体制書（第４号様式）

(オ) 担当者経歴書（第５号様式）

(カ) 誓約書（第６号様式）

イ 企画提案書（任意様式）

(４) 提出部数等

ア (３) アに関する書類：１部（正本１部）

イ (３) イに関する書類：７部（正本１部、副本６部）

ウ ア・イについて、提出された書類は返却しない。

エ 提出書類の作成に要する経費は全て提案者の負担とし、謝礼金・旅費の支払は行わない。

オ 提出後における企画提案書等の内容変更、差替え又は再提出は認めない。

(５) 提出用紙

A４サイズを基本とすること（A３折込可）。

13 企画提案書の記載内容

仕様書に基づき、以下の事項を盛り込んだ企画提案書を作成すること。

また、本業務を円滑かつ着実に遂行できる提案を具体的に記載するほか、イメージ図を添付するなどして、分かりやすい企画提案書の作成に努めること。

【企画提案書の記載内容】

| 項目 | 内容 |
|--------------------|--|
| コンセプト | ・企画提案の趣旨、目的 ・期待される効果 等 |
| 企画業務 | ・イベント・表彰名称 ・イベント・表彰等内容 （イベント、表彰、ポータルサイト、セミナー、独自提案等） ・誘客に係る広報戦略 ・情報発信に係る広報戦略 ・全体構成 |
| 運営体制 | ・業務実施体制、進行管理体制 ・担当者の実務経験 ・会社概要（パンフレット可） 等 |
| 業務実施スケジュール | ・全体スケジュール 等 |
| 事業経費積算 | ・事業経費積算 ※本業務に当たり必要と見込まれる経費について、可能な限り細分化し、漏れのないよう記載すること。 |
| 類似業務の実績 （該当者のみ） | ・過去３か年（令和４年度以降）に本県から受注した本業務に技術上類似した業務の受託実績 |

14 業務委託予定者の選定

(1) 選定方式

業務委託者の選定は、別途設置する「プロポーザル審査会（以下「審査会」という。）」が行うものとする。審査会は、企画提案書等を審査し、これを総合的に評価し、業務委託予定者（単独随意契約の予定者）を選定する。

(2) 審査会（プレゼンテーション）

審査会は以下のとおり予定しているが、詳細は企画提案者に別途通知するものとする。

ア 開催日時及び会場

(ア) 日時 令和7年4月9日（水）13時30分～（予定） ※詳細は別途通知します。

(イ) 場所 生活環境部大会議室

イ 所要時間

20分間以内の説明（プレゼンテーション）と10分間以内の質疑を実施する。

(3) 審査項目及び配点（100点満点）

| 審査項目 | 配点 | 評価基準 |
|---------------------------------------|-----|---|
| 1 コンセプト | 10点 | ・本業務の趣旨・目的をよく理解しており、企画提案の内容が的確な提案となっているか。 |
| 2 事業の取組内容 | | |
| ①ふくしま女性活躍推進シンポジウムの企画・運営に関する提案 | 25点 | ・女性の活躍を促進する啓発効果が期待でき、かつ妥当な方法であるか。 ・来場促進策は効果が期待でき、かつ妥当な方法であるか。 |
| ②「ふくしまで輝く女性ロールモデルアワード（仮）」の企画・運営に関する提案 | 20点 | ・女性の活躍を促進する啓発効果が期待でき、かつ妥当な方法であるか。 ・受け手の興味関心をひきつけ、より多くの者の参加につながるような提案内容となっているか。 |
| ③ふくしま女性活躍応援ポータルサイトの管理・運営に関する提案 | 15点 | ・女性の活躍を促進する啓発効果が期待でき、かつ妥当な方法であるか。 ・アクセス数増加策は効果が期待でき、かつ妥当な方法であるか。 |
| ④女性活躍応援・男性向け家事シェア出張セミナーの企画・運営に関する提案 | 10点 | ・女性の活躍を促進する啓発効果が期待でき、かつ妥当な方法であるか。 ・性別役割分担意識を解消する啓発効果が期待でき、かつ妥当な方法であるか。 |
| 3 業務の実施体制 | 10点 | ・業務を実施する上で十分な体制であるか。 ・業務を円滑に実施できる計画であるか。 |
| 4 事業費の妥当性 | 10点 | ・企画提案内容に対して妥当な経費積算であるか。 ・イベント運営費、制作費、広告費等のバランスは妥当か。 |

- ・ 各審査項目の評価内容に基づき、各審査委員の採点数の合計を算出し、採点数の合計が最も高かった者を業務委託予定者（随意契約の予定者）、2番目に高かった者を次点者に決定する。
- ・ 採点数の合計が同点の場合には、最高点をつけた委員の点数と最低点をつけた委員の点数を除いた採点数で判断し、その点数が同点の場合は、委員長の判断によるものとする。
- ・ なお、審査委員の採点数の合計が、満点（審査委員数×100点）の6割に満たない者は「業務委託予定者」としない。

15 審査結果の発表及び通知

- (1) 期 日：令和7年4月10日（木）（予定）
- (2) 発表方法：申請者に対し書面で通知するとともに、県ホームページにおいて公表する。
- (3) そ の 他：審査結果に対する異議申し立て、質問等は一切認めない。なお、選定されなかった者は、その通知が到達した日から起算して7日（土曜日及び日曜日を除く）以内に、書面により選定されなかった理由についての説明を求めることができる。

16 不適格事項

この要領に定める手続以外の方法により、参加者が関係者に本企画プロポーザルに関する援助を直接又は間接に求めた場合、その参加者を失格とする。また、提出書類が次のいずれかに該当した場合についても同様とする。

- (1) 提出方法、提出先、提出期限に適合しないもの。
- (2) 作成様式及び記載上の注意事項に示された内容に適合しないもの。
- (3) 記載すべき内容の全部又は一部が記載されていないもの。
- (4) 記載すべき事項以外の内容が記載されているもの。
- (5) 虚偽の内容が記載されているもの。
- (6) 予算が見積限度額を超過しているもの。

17 契約手続

- (1) 福島県は本業務に関して業務委託予定者と仕様書等の協議及び福島県財務規則に基づく契約交渉を行う。なお、この手続に参加した者が、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定のいずれかに該当することとなった場合、又は交渉の結果契約締結までに至らなかった場合、契約の締結を行わないことがある。この場合は、次点者と契約の締結交渉を行う。また、暴力団、暴力団員、暴力団関係企業、その他これらに準ずる者に該当する場合も契約締結を行わない。
- (2) 業務委託予定者は、契約保証金として契約額の100分の5以上の額を、契約締結前に納付しなければならない。ただし、財務規則第229条第1項各号に該当する場合には、契約保証金の全部又は一部の納付を免除することがある。

18 その他

- (1) 本業務において採用した作品等の権利は福島県に帰属する。
- (2) 本業務において作成した各種コンテンツは、県ホームページ、ポスターやパンフレット等への掲載、また県が許可した広報媒体において二次使用等を行う場合がある。なお、県が二次使用す

るに当たり、第三者の有する著作権その他の権利を侵害することがないように、作成に当たっては必要な許諾を得ること。

- (3) 本業務を実施する上で、必要な資材の調達や印刷物の制作等においては、可能な限り県内事業者を利用するように努めること。

19 問合せ先等

〒960-8670

福島県福島市杉妻町2番16号（福島県庁西庁舎10階）

福島県生活環境部男女共生課 岡部

電話：024-521-7188 FAX：024-521-7887

E-mail：danjo@pref.fukushima.lg.jp